

ほのぼの苑だより

題字：小笠原 博 様



新年度、新入職員を加え、ほのぼの苑も新たなスタートを切ります。
ほのぼの苑を利用して良かったと言われるよう職員一丸となって
皆様が満足出来るケアの提供に努めます。

新入職員 紹介

平成十九年度、ほのぼの苑では十二名の
新入職員を迎えました。新入職員
全員の顔写真をご紹介致しますので、
どうぞお気軽にお声かけ下さい。



①大石 綾子

- ②介護
- ③料理、音楽鑑賞、DVD鑑賞
- ④漢検二級を持っているので、読書
きが得意なこと
- ⑤広くて、明るくて、綺麗で温かい印
象です
- ⑥明るく元気に働くことです

- ①名前
- ②職種
- ③休日の過ごし方・趣味
- ④自慢できること
- ⑤ほのぼの苑の第一印象
- ⑥この職場での夢



①鳴海 舞

- ②介護
- ③休日は買い物に行きます。趣味はイ
ンスタントカメラですが、写真です
枕に頭をつけたら十秒で寝ること
が出来ます
- ④ピンクの外壁がかわいいです
- ⑤夢というより目標として、利用者
の方々が日々笑顔で過ごすことが出
来るといふような援助を行っていき
たいです



①菅原 舞

- ②介護
- ③読書、映画鑑賞
- ④漢字検定準二級
- ⑤清潔そう、良い雰囲気
- ⑥介護の仕事に五年間頑張り、介護
支援助専門員の資格取得をすること



①小林 賢太

- ②介護
- ③音楽鑑賞（洋楽）、サッカー
- ④柔道二段（黒帯です）
- ⑤大きな所だなあ〜と思いました



①菊地 美貴子

- ②介護
- ③ドライブ、ナンプレ（懸賞）
- ④バレーボール、ドライブ（自然の素
敵な所に行くこと）
- ⑤老健のイメージは病院のような固
いイメージでしたが、ほのぼの苑
は、建物が温かく、BGMがゆった
りとした雰囲気誘うようなイメ
ージでほのぼのとした印象です
- ⑥場を明るく、楽しくし、利用者さん
といっまでも笑いあえるような介
護士を目指したいです



①越後谷 由香子

- ②介護
- ③家でごろごろして、テレビを見てい
る
- ④料理が全く出来ないこと
- ⑤広くて、綺麗な所だと思いました
- ⑥素敵な介護士になること



①武田 暁子

- ②介護
- ③ショッピング、DVD鑑賞
音楽鑑賞
- ④書道が少し出来ること
- ⑤施設内が広く感じたこと
- ⑥利用者の方々の笑顔を引き出し、信
頼していただける職員になること



- ①三浦 正
- ②リハビリ（作業療法士）
- ③スケートボード
- ④暇を潰すことが上手だと思います
- ⑤広くて開放的
- ⑥信頼されるセラピスト



- ①津谷 泰宏
- ②リハビリ（理学療法士）
- ③部屋の掃除、洗濯をしてから、コーヒーを飲み、猫二匹と遊びます
- ④鶴の湯（乳頭温泉郷）でV6のメンバーと一緒に風呂に入り、裸の付き合いをしました
- ⑤皆さん話しかけやすい雰囲気があり、溶け込みやすそうでした
- ⑥職員全員と友達になりたいです



- ①齊藤 茉李子
- ②リハビリ（作業療法士）
- ③ドライブ、買い物、洋楽鑑賞
- ④代謝がいい、目がいい
- ⑤笑顔いところ
- ⑥遊んでいるようでちゃんと考えて実行できる作業療法士になる



- ①斉藤 邦幸
- ②デイケア介護
- ③ドライブ、映画鑑賞
- ④阪神淡路大震災のとき、災害復旧の測量で東北の十人の内の一人として行きました
- ⑤温かくて、音楽が流れていて、良い雰囲気だなあと感じました
- ⑥上になる



- ①山田 アヤ子
- ②保守
- ③ひたすら休養します
- ④特になし
- ⑤お風呂上がりにドライヤーで髪を乾かしてもらっている利用者の方のうっとりした顔にほのぼのとさせられます
- ⑥笑顔の絶えない掃除婦さん



入職式の様子

4月期家族会のお知らせ

3月の家族会は、インフルエンザにて中止となり、ご予約を組まれていたご家族の皆様には、大変ご迷惑をお掛け致しました。

4月の家族会は、**29日(日)**に開催いたします。

今回の家族会では、予防給付について説明致します。4月より新しく導入される給付形態で入苑されている方々にも関わりのある内容となっております。また、引き続き当苑へのご意見・ご要望もいただきたいと考えております。

大変お忙しい中とは存じますが、何卒ご参加いただき、当苑をより良い施設にするためにご協力の程、よろしくお願い致します。

ほのぼの苑

今月のテーマ 予防給付について



幸福

雪が少なく、春の天候が心配されたが、農作業のシーズンが到来した。以外にも天候に恵まれて、我が家も稲の苗作りや畑作業が順調に進んでいる。

この時期になるといつも思い巡らすことがある。まだ若い頃、米作り日本一コンクールが農林省主催で行われていたときのこと、誰もが米作り農家であれば、一度は優勝を目指して頑張っていた頃のことである。稲の知識と言えば高校で学んだことぐらいで、稲自体もまともに見たことが無かったし、どのように作れば良いかもわからなかった。ただ人のまねをして、二、三年過ぎた。しかし秋になって収穫すると愕然とするほど、他農家との差があった。見かねた叔父が一人の稲作普及員を紹介してくれた、その普及員のことを思い出す。

年は二十歳も違わないが、髪は白髪混じりで、中肉中背でことのほか、声はかすれて物静かで時には、聞こえないくらいの小声で語りかけるが何か間違ったことや自分に不利なことがあるば、所構わず「この馬鹿たれー」と大声で怒鳴られた。その「馬鹿たれー」がことのほか、飲み会ともなれば手がつけられないほどの大声で怒鳴られる。それがきっかけとなり、発奮し、

ありとあらゆる稲作の講習会に参加し、わからないことがあれば、寝食を共にして学んだかきもあり、その後は人並みの収穫が取れるようになった。再三コンクールには出品したがレベルの高さには及ばなかった。桜のつぼみがほころび始める頃になると、桜の下で泥酔いし、「この馬鹿たれー」と大声で怒鳴られ、眼鏡の下から睨まれた頃のことか思い出される。その頃が一番の幸せだったかもしれない。その恩師とは数年前から音信不通である。

ポツリと一言

今号、ほのぼの苑だより初の試みとして、全職員を撮影し、表紙に掲載しました。全職員が一つのことに向かって、取り組む姿勢を今回は写真という形で表しましたが、良い記念写真になったのではないかと思います。

(カ)

発行



医療法人 正和会

介護老人保健施設 ほのぼの苑

〒018-1401

秋田県潟上市昭和久保字街道下 92-1

電話 018-877-7115 FAX 018-877-7481

ホームページ

<http://www.seiwakai-akita-nol.or.jp/>

編集責任者 加藤 稔樹

発行責任者 小玉 敏央